

会 議 録

会議名	令和２年度第２回東浦町社会教育委員会	
開催日時	令和２年１１月４日（水） 午前１０時から午前１２時００分まで	
開催場所	東浦町体育館 小体育室	
出席者	委員	石原弘幸氏、久米さちへ氏、松下玲子氏、平井伸幸氏、 二宮邦子氏、水野智美氏、高崎義幸氏、月原康雄氏、 外山淳子氏、杉浦義治氏、平松進吾氏、梶山博史氏、 橋本一男氏
	事務局	教育長、教育部長、生涯学習課長、中央図書館長、 スポーツ課長、生涯学習課係長、文化財係長、 生涯学習課主事、生涯学習指導員
欠席者	なし	
議題	１ コロナ禍における各施設の利用状況について ２ ＩＣＴ教育の取組について ３ その他	
傍聴者の数	３名	
審議内容	◆生涯学習課長 新委員の自己紹介。 次第に従い会を進める。 委員長挨拶。 ◇委員長 （挨拶） ◆生涯学習課長 教育長挨拶。 ◆教育長 （挨拶） 以降は委員長が議事を取り回す。 ◇委員長 次第に従い、議事を進める。１号議案「コロナ禍における各施設の利用状況について」を議題として、事務局（スポーツ課）から説明を求める。 ◆事務局 スポーツ課長による説明と現地見学。 ◇委員長 事務局の説明を受けて、委員の意見を募る。	

	◇委員 屋内施設として、体育館とはなのき会館の利用状況の説明はあったが、他の屋内施設（各ふれあいセンターや藤江コミュニティセンター）の説明もあるとよかった。 屋外体育施設の利用状況を見ると、グラウンドでもテニスコートでも、3月は3日間しか利用していないのに、利用件数も利用人数も多い気がする。6月の第1回社会教育委員会で、利用件数や利用人数は申込人数で集計していたが、このような考え方だと4月が0件というのもわからない。この点について確認したい。 ◆事務局 3月の体育館の利用件数・人数は、申込の数値で統計していた。4月・5月については、施設が休館だったので、0にしていた。また、出先の機関の統計については、今回省略した。 ◇委員長 スポーツ課についてはこれで終了し、生涯学習課・中央図書館から説明を求める。 ◆事務局 生涯学習課係長、文化財係長、中央図書館長による説明。 ◇委員長 事務局の説明を受けて、委員の意見を募る。 ◇委員 文化センターと資料館について、定員を半数にして実施しているということだが、講座などで受講者が減ると受講収入が減る。そうすると、講師の講師料を下げるのは難しいので、受講料が上がるというようなことがあるのか。 ◆事務局 文化センター・資料館とも、会場の定員に合わせて受講者数を設定して実施している。受講者の定員が減っても講師料の減額はなし。また、受講料については、コロナ禍以前に計画していた当初の人数で算出した金額で対応している。当初予定していた受講料で実施している。 ◇委員 利用者・講師に影響がないので安心した。しかし、施設の収支決算としては赤字になるのが心配である。3月末に決算が出たところで確認したい。 ◇委員長 現在、図書館のラウンジにソファがない。コロナ禍における
--	---

	利用条件の規定があつて、今の状況になっているのか。 ◆事務局 規定ではなく、ソファを置いてしまうと、現在短時間の利用をお願いしていても、寝てしまう方も多々いらっしゃった。現在は、雑誌棚の外側に4脚ソファが配置してあるので、そこを利用してもらいたい。 ◇委員長 次第1「コロナ禍における各施設の利用状況について」の議題の終了を宣告。 次第2「ICT教育の取組について」を議題として、事務局から説明を求める。 ◆事務局 生涯学習課主事による説明。 ＜資料訂正＞ ・3（2）開催日時・・・ロボットコース（1）1/17, 2/7, <u>2/28</u> ロボットコース（2）<u>1/31</u>, 2/21, <u>3/7</u> ・3（3）講座内容・・・※両コースともに申込み可能 ⇒ <u>一人1コースのみ</u> ◇委員長 事務局の説明を受けて、委員の意見を募る。 ◇委員 新しい事業であり、どれぐらいの人気があるのか、結果がどうなるのか楽しみにしている。この講座の受講料はどのくらいになるのか。また、日程について、2時間の受講内容を1か月後まで覚えていられるのか心配している。 ◆事務局 受講料については、ロボットコースが1,200円程度、ゲームコースが2,400円程度で計画している。また、確かに月1回の受講だと前回の内容を忘れてしまう可能性もあるので、前回の振り返りをはじめに入れることを考えている。 ◇委員 受講生の募集が1～6年生だと学年間に差があると思う。その点は大丈夫か。 ◆事務局 講師と相談したら、受講内容が全学年対応となっている。また、
--	--

	講座を進める中で、高学年が低学年を教えるというような交流ができるといいと考えている。 ◆事務局 昨年度、プログラミング教室を1回実施した。申込者が、1～6年生まで多数いたので、抽選を行った。受講者の学年がばらばらであったので、低学年は保護者同伴としたが、実際は他学年の保護者も興味があり、同伴であった。 そこで、小学校でのプログラミング学習では保護者なしで行うことも考えて、今回は保護者なしで行うこととした。実際個人差があると思われるので、できない子にはサポーター（できる子）がついて行うことが理想的だと考えた。今後クラブを運営していく上で学年を超えた教え合いができればと考えた。幅広い学年での申込があることを期待している。 ◇委員 すごくいい企画だと思う。前回やられたときは、倍率は何倍ぐらいだったか。 ◆事務局 2倍でした。 ◇委員 それぐらいだったらいいが、希望者が多かったのなら今回の募集を多くしたほうがいいと考えた。 ◇委員長 この講座は、今年度初めてだが、次年度以降の継続性についてどう考えているか。 ◆事務局 次年度以降も講座を継続して実施し、クラブの参加者を募ってクラブが設立できるようにしたい。そして、自主運営ができるようにサポートしていきたい。 ◇委員長 今回は業者委託で、今後もしばらくは続くと思われるが、東浦町でプログラミングが指導できる講師は、例えば人材バンクの中で何人いるか。 ◆事務局 教えられる方の登録者数などは、現在把握できていない。パソコン教室の参加者や町内のパソコン関係の業者に、クラブが設立後は講師になっていただけるよう声かけをしていく予定である。
--	--

◇委員長

業務内容に、地域の講師を支援・育成していくとある。受講した子どもたちがグループを作って、研修を積んで、上達していくように指導していく考えがあるか。

◆事務局

受講した後に、クラブ発足に協力してもらえるか意思確認をし、進めていく中でステップアップできればいいと考えている。

◇委員長

まだ、希望者など見通しも立たないこともあるが、この企画は年齢に関係なく、ひらめきなど才能を開花させることもある。素晴らしい方向に進めていってほしい。

議事(2)に関するさらなる意見がないことを確認する。

議事(3)「その他」、委員から意見を募る。

◇委員

協議会について、本日も報告を聞かせてもらった。自分自身勉強になるし意義がある。しかし、自分は公募で参加している。募集の際、「これから高齢化社会になる。高齢者が、健康で文化的な生活をしていることが東浦町の元気を高めることに大きく貢献することになる。ここを支えるのが、社会教育全般の取組ではないか。そのために、高齢者である自分が、いろいろな体験をしてきた、情報収集能力がある、人的ネットワークも蓄積してきた力を生かしていきたい」という作文を書き、こういうふだん考えていることを検討しながら充実していく協議会を考えていた。前回・今回とも報告について検討して終わってしまう。自分の希望としては、報告を聞いて認識することも重要だが、現在はコロナの時代であり、社会の価値観が変わりつつある。東浦町社会教育の在り方も変わってくると思う。これは、1回、2回の会議でまとまるものではなく、フリートーキングをしながらいろいろな考えを出し合い、行政の方々の参考になり、3年、5年後には実現していけるように貢献していけたらと考えている。そのために、協議会の姿を変え、現実的な話をしていただけるとありがたい。

◇委員長

社会教育委員会の在り方についてだと思う。委員会は年に3回と決まっており、当面する課題について話し合う時間が少なくなっているのが実情である。生涯学習関係の事業計画についての提案に対して答申、講座などへの意見を話し合っているが、時間的に短く、要望を出す時間がない。また、要望を出しても、次年度に活かされていくことが難しい状況ではある。しかし、それぞれの会の中で、できるだけ時間を取って、社会教育委員の皆さんのお考えになっていることを当面の課題として出していただいて、

	フリートーキングできる時間を設けたいと思っている。今回もそう思っていたが、時間が無くなってしまった。今後、早急に検討していかなければならないので、社会教育委員会の回数も含めて、事務局や教育委員会とも検討していく。 ◇委員 40 年近く森岡コミュニティセンターで、月 3 回～4 回絵画教室を実施している。会員は、70 代、80 代の人が多い。20～30 年前は、東浦町は文化活動が盛んであったので、講座参加者も多かった。今は、10 人未満である。講義室を借りるには、前月の 1 日に募集が始まるので、80 代の人が朝から場所取りをしている。9 時からの受付なのに、8 時 30 分には 10 人は並んでいる。朝から並ばなければ場所が取れない。場所が取れなければ、次の講座が開くことができない。場所が取れず、講座がつぶれていくこともあるのではと心配している。今回は、3 回のうち 1 回は別の小さな部屋であった。ただ、その部屋は違う先生が使う部屋であったので、その先生は講座が開けず、申し訳なかった。最近は、近隣の市町の方も東浦は施設使用料が安いということで会場を使用することもあり、競争の倍率も上がった。生涯教育でお年寄りを大切にしていこうという考えとは違っていると会員は考えている。魅力がないので、文化協会に所属する人も少なくなっている。いい形を考えてほしいし、自分も協力していきたい。 ◇委員 文化協会に登録している方々は、東浦町の社会教育を支えるパワーとなっている。自分の趣味と実益を兼ねて努力していらっしゃる団体が、魅力ある団体になることが、東浦町の大きな課題であると思う。こういう問題について、この協議会で話し合えるとありがたい。 ◇委員長 本当に切実な問題である。コミュニティセンターの会場取りは苦労したことが何回かある。活動の基である活動場所の確保について、生涯学習課でも検討してもらいたい。また、わたしたちが、この会で話ができる機会が設けられたらと思う。 議事(3)に関するさらなる意見がないことを確認して、議事の終了を宣告。 ◆事務局 次回の委員会について連絡。次回は、3 月に予定。日時は後日連絡。
備考	なし